

## 【第2報（終報）】荘川IC Uターン路の門扉及び散布車の回転灯の損傷

【発生日時】 2025年1月14日（火） 2：40 頃 ※推定時刻

【発生場所】 E41東海北陸自動車道 荘川IC 雪氷Uターン路

【工事件名】 2024年度 東海北陸自動車道 管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】 ・雪堤除雪兼散布作業（3台梯団作業）

雪氷対策作業にて、白鳥IC～荘川IC間の除雪散布作業を行うために、荘川のUターン路を使用し、下り線から上り線へ移動する際に上り線側門扉と除雪車が接触したものを。

門扉はリモコンにて先頭車両が開け、最後尾の車両が門扉を通過した後に閉める手順だったが、本線流入をすることに焦り、車両が通過している最中にリモコンを操作してしまったため、車両が通過する前に門扉が下がり接触してしまったもの。

【被害状況】 人的損害 なし

物的損害 Uターン路の動物侵入防止用シート及び散布車の回転灯の損傷

【第三者被害】 なし

【マスコミ報道】 なし

### 【時系列】

1/14 1：20 白鳥IC～荘川ICの除雪散布要請  
 1：30 車両の暖気及び散布車へ剤の積み込み  
 1：40 上り線作業開始  
 2：10 白鳥ICを折り返し、下り線作業開始  
 2：40 Uターン路にて事故発生  
 2：41 雪氷本部、当番課長に報告  
 3：07 所内周知  
 ～ 12：00 緊急安全大会実施

【原因】 ・Uターン路速車線に3台分停車できるスペースがなく3台目が門扉の下で一旦停車した。頭抑えのために本線流入を急ぎ当該車両が門扉を通過している最中に門扉のリモコンスイッチを押したため、門扉が降下し車両と接触した。（あせり）

・普段は5台梯団で作業をするため、5台目がリモコンを操作し門扉を閉めていたが、今回は雪堤対応のため本線のための3台梯団作業となり、普段と手順が違った。3台梯団での作業手順が明確でなかった。（教育不足）

※Uターン路使用時の状況参照

### 【対策】

・3台梯団で作業する場合は、別途標識車を配置しUターン路門扉を閉める作業を行うものとする（標識車は門扉を閉める作業のみで梯団には追従しない）

・上記は荘川基地・白鳥基地のみに適用するものとし手順書を作成する。

⇒白鳥基地：通常作業（南向き）は該当するUターン路なし

北向き応援の場合のみ3台梯団となった場合に対象Uターン路を使用する

⇒清見基地：該当するUターン路なし

⇒白川郷基地：該当するUターン路なし

位置図



破損状況(赤枠)



門扉動物侵入防止用シート損傷

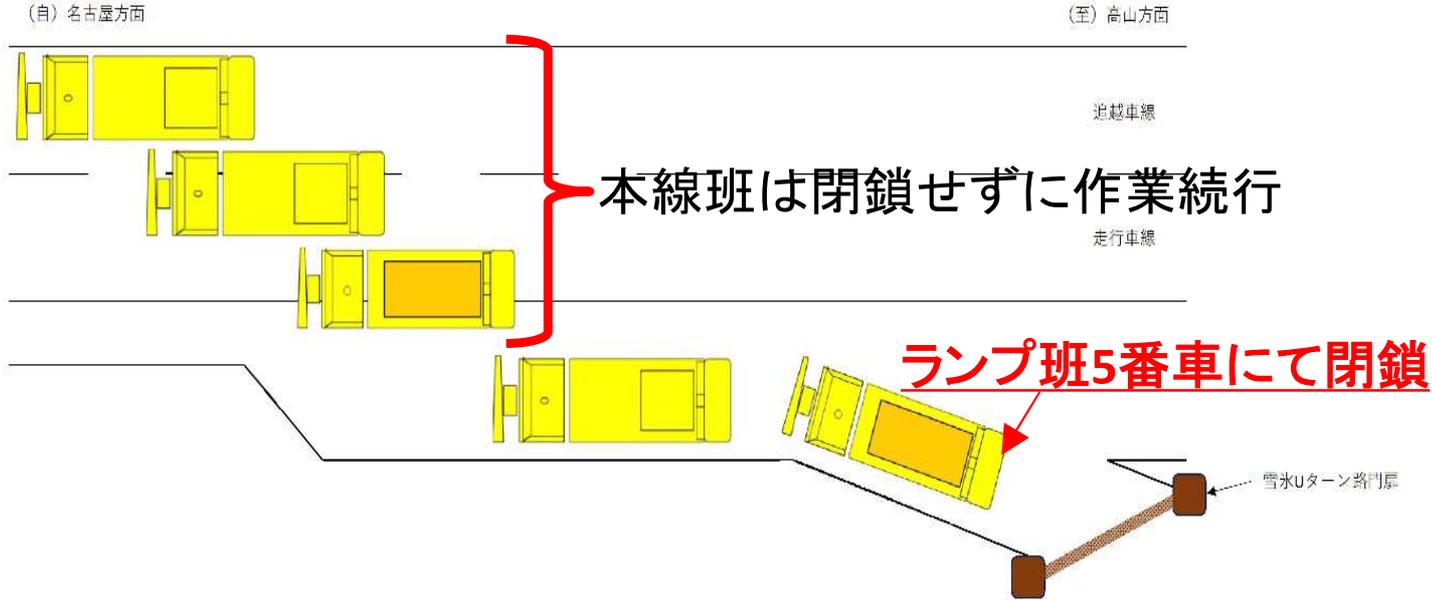


散布車回転灯の損傷

Uターン路使用時の状況

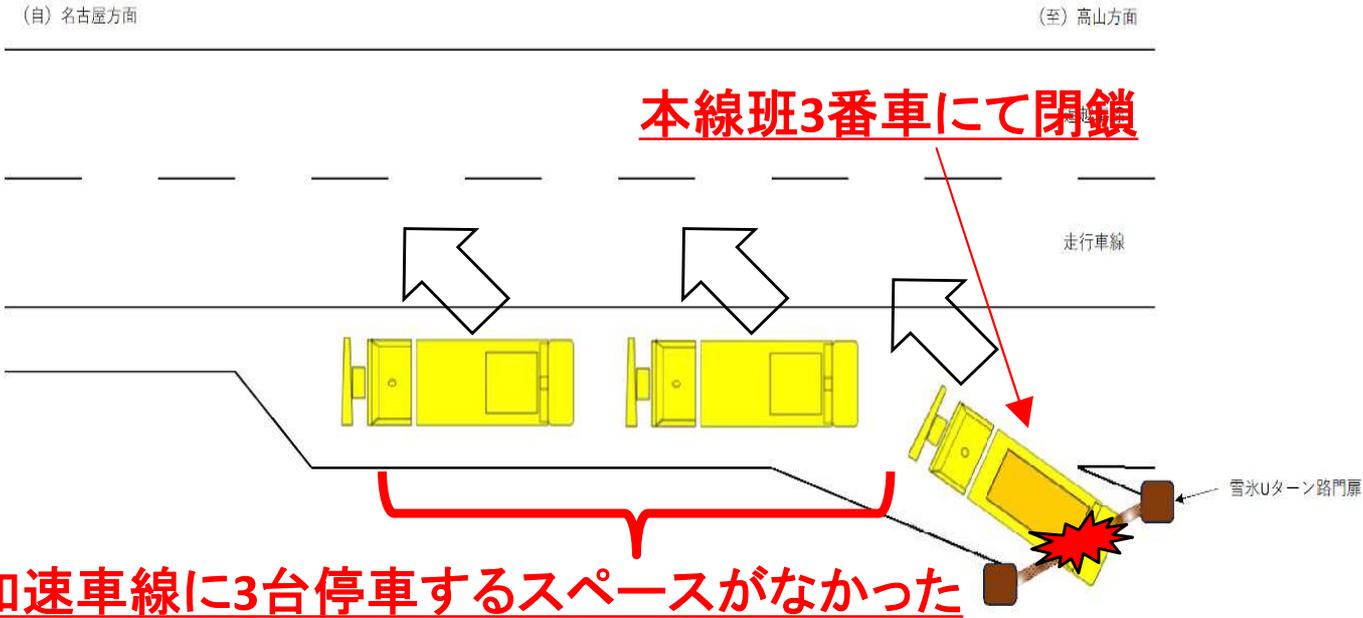
通常時の運用

5台梯団



事故発生時の運用

3台梯団



Uターン路出口部は除雪車2台程度のスペースであり、本線班が本線流入と同時にUターン路の閉鎖を行ったため門扉と接触